

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	開設当初より理念は作り上げており、サービスに活かしながら取り組んでいる		りを職員全体でもう一度現在の理念をヒントに話し合い、職員個々の理念の考え方を聞きいれながら、地域に密着したサービスを検討していきたい
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	町の花言葉から引用した敬愛を基本姿勢とし、基本ケア理念を掲げながらケアサービスの実践を行っている		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	町内会にも参加させていただきながら、地域との交流を大切にして、ビールパーティや町内会の行事・町の行事等に招いていただき地域との交流を図っている。		家族や運営推進委員と利用者との交流をもとと、送迎バスを使って滝川市内の焼き肉バイキングなどへ出向き、親睦を図っている。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	散歩や買い物等近くにあるコンビニを利用し挨拶を交わすなど、地元の方にも利用者の顔を覚えられるなど日常的に交流がもてるよう配慮している。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会にも入り、町の行事やイベントにも進んで参加もしており、地域住民と交流を図りながら地域の方々と交流がもてるように配慮している。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	まだ、地域貢献としての活動は行っていない。		ホームの周りや道路等に落ちているゴミなどを職員と一緒に拾って、地域に貢献したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		<p>介護事故以外にも家族の要望や意見も頂いたいますが、他の家族の要望や意見も取り入れながら業務が改善できる体制作りを進めていきたい</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常生活の中で、日々何がしたいかを聞く体制作りをしており、行事など急に決まりみんなで出かけるといった形にはまらない行事の体制作りをしています。意見や苦情は、できるだけ傾聴し出来ることとできないことを家族にもお話し、お互い妥協できるところで運営に反映している		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族の方が来られたらどうか・緊急時には電話で報告をしています。		施設内でもお知らせコーナーを作り、家族などに施設の状況が分かるようにしていきたい。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	御意見箱を設置しており、ご家族の意見や不満・要望を聞く体制づくりをしています。また、運営推進会議の中でもご意見や不満・要望を聞く内容の会議もおこなっております。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月職員会議を開催し、会議の中や毎日の業務の中で、職員の意見や不満など聞くように努めており、可能な限り、職員の提案を取り入れ実践している		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者の身体的状況にも対応しながら、早出・日勤・遅出・夜勤の勤務表を作り、日中の体調不良時や急な夜間での病院受診が必要となる時は、早出・日勤・遅出の勤務者が応援対応できる体制を作っている		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者に不安が内容安心した生活ができるよう心掛け、職員が離職した場合は、直ちに勤務表を作りなおし、サービスに影響が出ないように対応している。また、新人の職員については、利用者や家族に紹介するなど不安の解消に努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内の研修や施設外研修にも出来るだけ参加できるよう配慮しており、職員に研修の機会を与えながら、少しでも良いケアの実践に役立てていけるように努めている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>近隣のグループホームとの交流もあり、クリスマス会や夏祭りなどのイベントに招待されている。また、研修会の案内もいただいてもおり、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>当ホームもまだ経験も浅くイベント的なものは行っていませんが、3年後くらいには、地域住民を招待するなどの行事を行っていきたいと考えております。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>業務にストレスがかからないよう、できるだけ連休が取れる勤務表作りを心がけており、年休も遠慮しないでとれる勤務体制作りを実践している。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>各委員会を作り、委員長より業務が実践できる体制作りを取っている。</p>	<p>人事考課や自己評価も取り入れながら職員の向上心を育てていけるような体制作りをしていきたい。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>本人や家族が現状困っていることをよく傾聴し、本人の言動から推測し、本人の思いを受け止めながら、安心した生活ができるように努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族から不安や心配事を良く傾聴し、職員同士で共有しあいながら、少しでもその思いが軽減できるよう職員全員で対応している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人とご家族が何を望んでいるかを聞き、他のサービスも含めながら相談できるように対応している		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居するときは、できるだけ家の物を持ってきていただき、使っていただけるように相談しており、家族に協力していただきながらお部屋の環境作りに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	本人の出来ること・できないことを見極めながら、決して押し付けないよう本人の自立に向けたサービスを目指しており、利用者や家族・職員がお互い支えあえる雰囲気作りに努めている。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の来所時に職員からも利用者の近況の報告もしており、家族のご意見なども取り入れながら、これからも家族と共に話し合いながら入居者の支援を続けていきたい。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	来訪時には、利用者と家族が一緒に談話出来るような場の提供に努め、職員からお茶やコーヒー等をサービス提供しており、ゆっくりし談話ができるように環境作りにも配慮している。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者が昔から付き合いのある方の来訪や、また、地元までのドライブもおこなってもおり、地元での季節行事も取り入れながら、関係が途切れないよう支援に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士がお互い助け合うといった状況が生まれてきており、この状況が上手く長続きするようによい人間関係の構築に努めています。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービスが終了した後においても、生活の様子や健康面へのアドバイスを心がけ、家族の不安など軽減できるように努めています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	表情・行動・日々のかかわりの中で本人の希望にも添えるように努力しています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個々の生活のリズムを家族や本人に聞きながら、把握に努め、馴染みの生活ができるように支援している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日常での個々利用者の生活パターンを把握しながら、その人らしい生活ができるように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	その人らしい生活ができるよう、本人や家族に意見や要望を聞きながら、職員会議などで話し合ったケア方針を取り入れ、介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直しは、モニタリングを行いながら対応している。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	排泄・睡眠・食事量等個人の状況が分かるシートを作成し、記入しながら介護計画に反映できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	いつでも話し合える環境作りに心がけている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	自治区において、町内会のボランティア組織ができており、入居状況によっては、応援してくれる体制作りができています。また、町内のイベント行事等にも招待されるなど協力を頂いています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在の段階では、他のサービスをり利用するといった事が発生していません。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じ包括支援センターと密接に連携をとってもあり、また、運営推進会議にも参加していただき、情報や問題解決等のアドバイスをいただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週一回正看護師によるバイタルチェックを行いながら、健康管理に努め、協力病院への受診時にも同行してもらい適切な医療が受けられるように支援している。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	専門医への受診支援は、認知症により日常生活において問題がある重度の方を対象に受診している。		認知症の重度の方もホームにおいて日常生活ができるように専門医と相談しながら受け入れをしていきたい。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師は週一回勤務しており、入居者の健康管理を行っている。また、看護師が不在の場合は、連絡を取りながら相談できる体制をとっている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療関係者と退院の時期や治療方針等家族とともに聞きながら、本人や家族の意見も取り入れて相談し調整している。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	医療機関と隊員の時期や治療方針などを家族とともに聞き、本人や家族の意向も取り入れながら相談して、職員とよく話し合いながら終末への方針を共有して支援していきたい。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	終末期の介護方針を家族や担当医・看護師などと話し合い、その人らしく終末期を暮らせるように支援していきたい。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	他の施設へ移動した方はいませんが、今後映られる方がいた場合、情報交換を行い少しでも早く慣れるように協力していきたい。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個々の状況にあわせ、声掛けや対応の仕方に注意している。また、プライバシーを侵害しないよう記録等は利用者の前では書かないように配慮している。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	本人の出来ること・出来ないこと、また、分かること・わからないことを職員間で情報を共有し、無理のない本人が行いたい事だけを取り入れながら支援している。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	無理のない、その人のペースに合わせた生活ができるように支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	家族や本人の希望により、近くにある理容院や美容院に連絡を取りながら理美容のサービスを受けれるように支援している。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりのこのみが違うように、嫌いなものを極力出さないように努め、一緒に食事を作ったり、刻み食にも対応しながら、できるだけ、できたての食事を提供できるように支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人の嗜好も色々あるため、コーヒーや牛乳等本人の好みにあうものを飲んでいただけのように支援している。また、熱いものは熱く、冷たいものは冷たく提供しており、本人の希望により提供している。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している。	排泄パターンを把握しながら、トイレで排泄を促し、排泄後の清拭もおこなっており、気持ちよい排泄ができるように支援している。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	毎日の入浴が可能で、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴できるように支援している。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとり生活リズムが違うように、寝るタイミングも違いがあります。出来るだけ眠れるように電灯の明かりを半分程度にしたり、小球程度の明かりにするなど個々のスタイルで眠れるように配慮しています。また、眠れない方については、ホールでテレビをつけて小さな音で観賞していただいております。眠くなったらお部屋に戻り、寝ていただくといった支援も行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	掃除や食事の後かたづけや、洗濯物を干したり、洗濯物たたみ等、その人がやりたいことを聞きながら職員と一緒にやっている		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物に行く時は、利用者に声掛けを行い、自分でお金を管理している方やお金を管理できない方も一緒に職員と車に乗って出掛け、買い物を楽しんでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	特に行事は決めていませんが、その日の利用者の希望を聞きながら、外出行事ができるように自由に行事を楽しんでもらえるよう支援しています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	春には家族と一緒に食べ飲み放題のバイクンクに行ったり、職員とドライブに出かけ、家族の住んでいるところへ出向き、家族に会ってくる等の支援をしています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話の利用はほとんどありません。外から電話や手紙が来たときは、本人へ連絡し支援しています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族や馴染みの方が来たときは、できるだけ話せるような環境作りをしております。お茶やコーヒーを提供しお話ができるように支援しています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っていません。自由に生活していただくことをケアの基本としています。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関は、日中鍵をかけず、出入りは自由となっており、居室は現在利用者同士のトラブルが発生しないように利用者が部屋にいない場合のみ利用者本人や職員によりお部屋の鍵をかけるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中や夜間など、常に居場所を職員同士把握しながら、職員間で連絡をとりあい安全確保に努めている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬剤や洗剤等は、場所を統一したり、誤嚥を防ぐために手の届かない場所で管理している。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	その日の状態に合わせ、転倒・誤嚥・行方不明等の発生がないように、申し送りや職員同士で情報交換を行いながら連携を取り、事故防止に努めている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急マニュアルを作成し、これに従って対応することとしております。しかし、夜間一人で対応できないと判断した場合は、他の職員の応援も可能な体制をとっている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署や地域住民と連携が図れており、災害時には協力体制も確立されている。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	事前に家族と話し合い、毎日の生活の中で、リスクに対して説明しその都度理解してもらおうようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	バイタルチェック・体温チェックを記録しており、異状がある場合は、看護師に連絡を取り支持を仰ぎ、場合によっては受診できるように対応している。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬は、職員一人ひとりが責任をもち、薬を飲んだ事を見届け、服薬チェックリストにサインをして確認をしている。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	利用者の排泄を毎日チェックし、水分を多く取るよう支援している。場合によっては、下剤調整も医師の指示で行いながら、便秘予防に取り組んでいる。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、声掛けをして航空ケアを実施している。義歯がある場合は、歯ブラシを使い洗浄し、うがいも行うなど口腔清潔に支援を行っている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量のチェックを行いながら、野菜や魚を中心とした栄養バランスの取れた食事を心がけている。また、お肉については、毎日ではありませんが提供もしております。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、これに従い対応している。特に基本は手洗いであり、消毒や清掃も実施している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>新鮮な食品を食べていただくために、3日で消費するよう心掛けており、生ものは出来るだけその日に消化できるように努めている。夕食後は、まな板や付近の消毒を実施している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>日中玄関は解放されており、家族や来訪者がいつでも出入りできるようにしています。また、玄関は広がっていることから座って靴を脱いだりはいたりできるようになっている。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ホール内は生花を飾り、明るく落ち着いた環境作りに利用者と職員が一緒になって工夫しながら行っています。また、家にいたときと同じように、ソファールを置いてリラックasできお昼寝もできるように支援しています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ホール内はソファールや大型テレビ・テーブル・食事用の椅子と用意され、利用者同士がお話でき、思い思いに過ごしていただける安心な環境となっています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は、できるだけ自分の家で使っていた筆筒や布団等を持ってきていただき、安心して過ごせるよう支援しています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>日中は窓をあけ、寒気も行いながら、室温調整を行っており、冬期間は、暖房の関係からホール内が乾燥しやすいために、加湿器を置くなど乾燥防止に努めています。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	本人が出来ることは自分で行ってもらい、出来ないことは支援している。室内を歩いたり、身体機能の低下を防止するため、日常動作訓練を行いながら日常生活の中で、できるだけ自立した生活が送れるように支援している。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	分かること、分からないことを職員一人ひとりが理解して、失敗しても本人のプライドを傷つけないように努めている。分かることや出来ることは積極的に行ってもらうように支援している。		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物のも外では、日陰を利用し、焼き肉や日向ぼっこができるように木製の椅子を置いてゆっくりと落ち着いた安心ある生活が送れるようにしている		

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>2 利用者全員の思いや願いはすべて理解はしていないと思います。今まで以上に利用者とかかわりを持ち理解していきたい。</p>
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>3 業務に追われる日が毎日だが、一緒にテレビを見たり、笑談したり出来る日もあり、ゆっくり過ごすこともある。</p>
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>1 ホールで過ごしておりますが、一人になりたい時は、お部屋で過ごされており、お部屋で昼寝をしたりテレビを見たりしています。</p>
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>3 生活の中で会話をしている時、生き生きとした話になる事が、こうした状況の時、作業を手伝ってもらっても頑張っている。</p>
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>2 買い物に誘う時、拒否される事もあるが、家族の方と一緒に温泉に行ったりしている方もいる。</p>
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>2 体調に不安がある時は、看護師に相談しており、夜間の緊急時の対応にも支持を仰ぎ早く対応ができる</p>
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>2 帰宅願望もときどきあるようですが、個人の要望があれば話し合いを行い、できるだけその方の希望に添えるよう支援している</p>
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p> <p>2 家族が来訪した時、話をする時間をもって気兼ねなく話せるように支援し、要望等も聞きいれて、出来る限り対応している</p>

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>	<p>3 時々、自分の住んでいた地域の人たちが来訪し、面会され談話し楽しく過ごしている。</p>
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くない</p>	<p>3 運営推進会議を2ヵ月に1回開催しているが、地元とのつながりといった感じはあまりない。</p>
98	職員は、生き生きと働いている	<p>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p>	<p>3 認知症という病気に対して、ケアの特効薬もなく、毎日毎日が戦いで、転倒事故等のないように努めている状況で余裕はない。</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p>	<p>3 利用者の方々の気持ちは毎日変化があり、決して満足はされていないと思います。私たちのかかわり方で満足度が違う。</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p>	<p>3 家族の思いも色々な考え方もあり、すべてにおいて満足されているとは考えていません。家族の支援も必要と考えます。</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点 米 ホームを利用されている利用者様は、当ホームの静かな環境の中で生活を送られ、土いじりやお花作り・野菜の成長等を楽しまれていることと思います。また、屋外行事などは、利用者様の声により決まるといった面白い特色や、癒しのスペースにぴったりのフットセラピーの施術も無料で受けられるといった特色があり、楽しいホーム作りを心がけております。また、屋外にはドックランもできており、ご家族の愛犬なども家族と一緒に来ることが可能となっています。空知管内でもこうしたグループホームは、あまりないものと思います。